



移住者名	宇佐美 彰規
都道府県	北海道 天売島
移住先	愛知県⇒北海道
移住年	2013年
職業	会社員⇒ゲストハウス経営
家族構成	1名
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

私は旅行が趣味で、日本全国を色々と旅してまわっていました。天売島に出会ったのは今から15年ほど前です。その時に見たウトウという海鳥の帰巢シーンに感動し、毎年この島を訪れることになりました。将来、この島で過ごせたらいいな、とは長年思っていました。なかなかきっかけもなく躊躇していたのですが、ある時、天売島での地域おこし協力隊の募集を見つけ、今がその時だと思い、協力隊に応募し、島に来ることになりました。3年間地域おこし協力隊として活動した後、去年の7月に空き家を改修して古民家ゲストハウスを開業しました。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

天売島には何度も来たことはありましたが、それは全て夏の観光シーズンだけであり、良いところしか見ていませんでした。実家の愛知県は、年に数回雪が降る程度の場所で、北海道の冬の厳しさというものが想像以上に大変でした。冬は、日本海の荒波はすごく、フェリーが欠航することも多々あります。医療は、小さな診療所があるだけですが、おかげさまで今のところ大病を患うことなく元気に暮らしています。コンビニもスーパーありませんが、インターネットで物が買える時代ですので、意外と不便は感じていません。

Q. 移住して良かったことは？

住む家と仕事の確保が最重要項目だったのですが、色々なご縁があり、港の近くという立地の良い場所で住居兼ゲストハウスを開業することができました。ゲストハウス以外の仕事として、ツアーガイドやシーカヤックガイドなどの観光業の他、漁業の手伝いやデイサービスの送迎などの仕事もあり、冬も島で暮らしています。自分のペースで過ごせる点や、美味しい魚介類などの食べ物や、季節ごとに移り変わる大自然の風景を間近に感じ、生き生きとした生活を送ることができています。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

いきなり知らない土地に飛び込むのは大変だと思いますので、実際に何度か訪れたり、お試し暮らし体験などを利用して、なにかその土地の好きなところを見つけると良いと思います。人であったり、景色であったり、食べ物であったりと、ここに住んで良かったと思えるものがきっと見つかるはずです。私は地域おこし協力隊を経てゲストハウス開業に至りましたが、協力隊で来た時は、島民の中には、この島に住んでどうするのと、いうように一歩引かれて見られたこともありましたが、自分のやりたいことに向かって頑張っていれば、自然と周りも応援してくれるようになりました。形だけのアピールではなく、信念を持って行動すれば自ずと住みよい場所になると思います。